第７１回　全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道代表決定戦

平成３０年１１月１７日（土）　　　　北海道立総合体育センター（きたえーる）

大会最終日

第１試合女子準決勝　旭川実業 VS 札幌大谷

第２試合女子準決勝　帯広南商 VS 札山の手

第３試合男子準決勝　岩緑陵 VS 東海札幌

第４試合男子準決勝　札幌藻岩 VS 科学大高

第5試合女子決勝　札幌大谷 VS 札山の手

第6試合女子決勝　札幌藻岩 VS 東海札幌

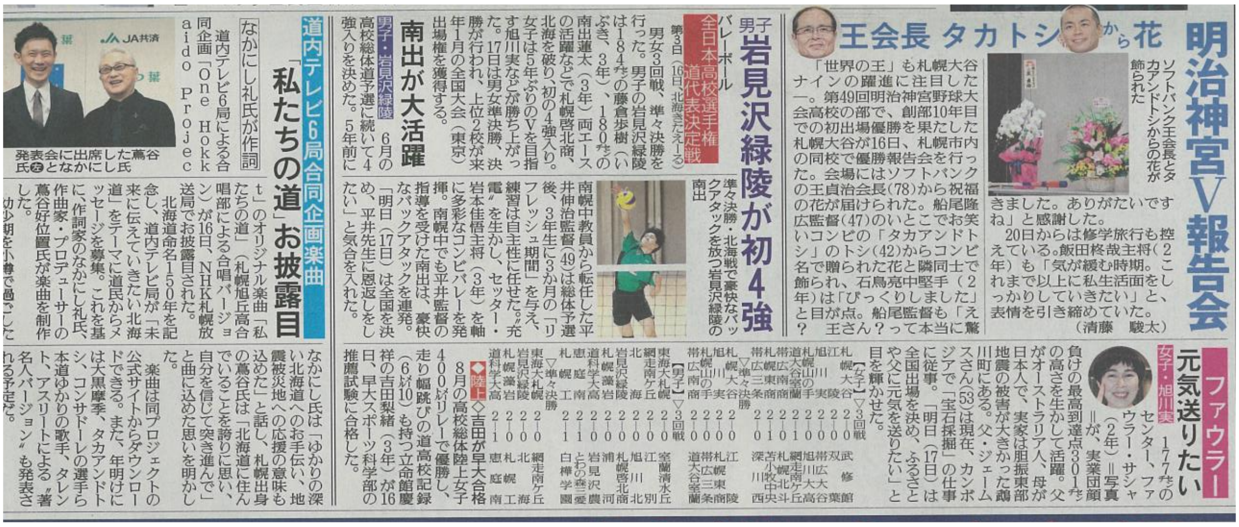
表彰と閉会式

男子　第3位　岩緑陵　科学大高

女子　第3位　旭川実業　帯広南商

優勝　東海札幌　　準優勝　札幌藻岩　　優勝　札山の手　　準優勝　札幌大谷

トピックス



明治神宮V報告会

王会長 タカトシから花

ソフトバンク王会長とタカアンドトシからの花が飾られた

「世界の王」も札幌大谷ナインの躍進に注目した一。第49回明治神宮野球大会高校の部で、創部10年目での初出場優勝を果たした札幌大谷が16日、札幌市内の同校で優勝報告会を行った。会場にはソフトバンクの王貞治会長(78)から祝福の花が届けられた。船尾隆広監督(47)のいとこでお笑いコンビの「タカアンドトシ」のトシ(42)からコンビ名で贈られた花と隣同士で飾られ、石鳥亮中堅手（2年）は「びっくりしました」と目が点。船尾監督も「え？　王さん？って本当に驚きました。ありがたいですね」と感謝した。

20日からは修学旅行も控えている。飯田柊哉主将（2年）も「気が緩む時期。これまで以上に私生活面をしっかりしていきたい」と、表情を引き締めていた。

（清藤　駿太）

ファウラー 元気送りたい

女子・旭川実

177㌢のセンター、ファウラー・サシャ（2年）＝写真＝が、実業団顔負けの最高到達点301㌢の高さを生かして活躍。父がオーストラリア人、母が日本人で、実家は胆振東部地震の被害が大きかった鵡川町にある。父・ジェームスさん(53)は現在、カンボジアで「宝石採掘」の仕事に従事。「明日（17日）は全国出場を決め、ふるさとや父に元気を送りたい」と目を輝かせた。

男子 岩見沢緑陵が初4強

バレーボール

全日本高校選手権道代表決定戦

準々決勝・北海戦で豪快なバックアタックを放つ岩見沢緑陵の南出

第3日（16日、北海きたえーる）男女3回戦、準々決勝を行った。男子の岩見沢緑陵は184㌢の藤倉歩樹（いぶき、3年）、180㌢の南出蓮太（3年）両エースの活躍などで札幌啓北商、北海を破り、初の4強入り。女子は5年ぶりのVを目指す旭川実などが勝ち上がった。17日は男女準決勝、決勝が行われ、上位2校が来年1月の全国大会（東京）出場権を獲得する。

南出が大活躍

男子・岩見沢緑陵

6月の高校総体道予選に続いて4強入りを決めた。5年前に南幌中教員から転任した平井伸治監督(49)は総体予選後、3年生に3か月の「リフレッシュ期間」を与え、練習は自主性に任せた。〝充電〟を生かし、セッター・岩本佳悟主将（3年）を軸に多彩なコンビバレーを発揮。南幌中でも平井監督の指導を受けた南出は、豪快なバックアタックを連発。「明日（17日）は全国を決め、平井先生に恩返しをしたい」と気合を入れた。

【男子】▽3回戦
東海大札幌 2－0 室蘭清水丘
網走南ケ丘 2－0 江別
北海 2－0 旭川北
岩見沢緑陵 2－0 札幌啓北商
札幌藻岩 2－0 浦河
道科学大高 2－0 岩見沢農
恵庭南 2－1 とわの森三愛
札幌工 2－1 白樺学園
▽準々決勝
東海大札幌 2－0 網走南ケ丘
岩見沢緑陵 2－0 北海
札幌藻岩 2－0 札幌
道科学大高 2－1 恵庭南

【女子】▽3回戦
札幌大谷 2－0 武修館
江陵 2－0 双葉
旭川実 2－0 帯広大谷
札幌山の手 2－0 旭川大高
道大谷室蘭 2－1 網走南ケ丘
帯広南商 2－0 札幌北斗
札幌東商 2－1 苫小牧中央
帯広三条 2－0 深川西
▽準々決勝
札幌大谷 2－0 江陵
旭川実 2－0 札幌東商
札幌山の手 2－0 帯広三条
帯広南商 2－0 道大谷室蘭

◆陸上◇吉田が早大合格

8月の高校総体陸上女子400㍍リレーで優勝し、走り幅跳びの道高校記録（6㍍10）も持つ立命館慶祥の吉田梨緒（3年）が16日、早大スポーツ科学部の推薦試験に合格した。

道内テレビ6局合同企画楽曲 「私たちの道」お披露目

なかにし礼氏が作詞

発表会に出席した蔦谷氏㊧となかにし氏

道内テレビ6局による合同企画「One Hokkaido Project」のオリジナル楽曲「私たちの道」（札幌旭丘高合唱部による合唱バージョン）が16日、NHK札幌放送局でお披露目された。

北海道命名150年を記念し、道内テレビ局が「未来に伝えていきたい北海道」をテーマに道民からメッセージを募集。これを基に、作詞家のなかにし礼氏、作曲家・プロデューサーの蔦谷好位置氏が楽曲を制作した。

幼少期を小樽で過ごしたなかにし氏は「ゆかりの深い北海道へのお手伝い、地震被災地への応援の意味も込めた」と話し、札幌出身の蔦谷氏は「北海道に住んでいることを誇りに思い、自分を信じて突き進んで」と曲に込めた思いを明かした。

楽曲は同プロジェクトの公式サイトからダウンロードできる。また、年明けには大黒摩季、タカアンドトシ、コンサドーレの選手ら本道ゆかりの歌手、タレント、アスリートによる〝著名人バージョン〟も発表される予定だ。

札幌藻岩快勝発進

188センチエース不在 170センチ台コンビ救った

バレーボール 全日本高校選手権道代表決定戦

第1日（14日、北海きたえーる）

男女1回戦を行い、男子で初Vを目指す札幌藻岩が、苫小牧高専に2－0のストレート勝ちし、好発進した。全国経験のある釧路工なども勝ち上がった。女子は札幌東商、旭川大高などが15日の2回戦に進出。81歳の斉藤敏大（としひろ）コーチが指揮を執った初陣・北見藤女は、古豪・苫小牧中央にストレート負けした。

【男子】▽1回戦

札幌藻岩　2（25－13、25－15）0　苫小牧高専

シャペルジュリアン㊥から激励を受ける西村⑱と大泉⑰

苫小牧高専戦でフェイントを放つ西村㊨

（3年）が12日に左足を捻挫し、欠場する緊急事態のまま初戦に臨んだ札幌藻岩。札幌平岡中時代からのチームメート、171センチの西村晴生（せいや）と177センチの大泉宏太（ともに3年）が代わって躍動した。

札幌平岡南小でバレーを始めた西村と大泉。中学生になると、シャペルジュリアンを勧誘してバレー部に入部させ、全道中学で3位入賞を果たした。「中学か

シャペルと全国

帰。この日は、先発レフトに入り、1メートルを超すジャンプ力を生かして硬軟自在の攻撃を披露。レシーブでも

ーバーで登場、復帰後毎日30本以上打ち込んだジャンプフローターを駆使し、16連続得点につなげた。

力を合わせ、初の春高バレー切符（上位2校）を勝ち取り、シャペルと一緒に全国舞台に立ちたい」と闘志

は調子の上がらないだが、冬にきっちりがレジェンドたるゆれない経験値と調整だろう。

ーズン肩の脱臼とケだが、シーズンオフ幹、バランス、陸上クを重視して取り組み切りで上半身の無くなり、例年になりでシーズンインで

きそうだ。W杯優勝で返り咲きを‼

もう1人、忘れちゃいけないのが小林潤志郎（雪印メグミルク）。助走姿勢の重心が微妙にズレており、悪くはないのだが、試行錯誤が続いて納得のジャンプができない夏のシーズンだった。だが、サマージャンプ最後の練習で雪上戦のイメージができた。開幕戦Vがあってもおかしくない。（長野五輪ジャンプ団体金メダリスト）

を家族と過ごした。一層頑張ろうという気持ちになった」と話すパパは、「より

のためになりたい」ドから勝利に直結する働きを見せる。（砂田　秀人）

‖、NEWS、乃木坂46、平井堅、ゆず…。日本を代表するアーティストが集結する一夜限りの音楽の祭典です。

この1年の音楽シーンと出来事を総ざらいするのはもちろん、平成最後のベストヒット歌謡祭ということで、アーティストたちが思い出深い平成の一年をVTRと共に振り返りながら、新旧のヒット曲を披露します。豪華アーティストによるメ

北見藤女81歳コーチ「いい経験」

【女子】▽1回戦

苫小牧中央　2（25－20、25－22）0　北見藤女

下級生軍団惜敗

苫小牧中央にストレート負けも、善戦だ。北見藤女は、登録9選手中2年生が2人で、残りは1年生という構成だったが、レフト・今野李菜主将（2年）中心に2セットとも接戦を演じた。

「粘り強さも出たし、若いチームにとっていい経験になったと思う」と斉藤コーチ。5年前に就任した、指導歴57年という超ベテラン指揮官は、北見商時代に道大会4強に導いた実績もある。

元国語教師で、毎日「四字熟語」を選手にメールで送り、その意味を返答させ

試合を見守る北見藤女の81歳・斉藤コーチ（中央）

バスケ部刺激 攻めて逆転○

【同】▽1回戦

札幌東商　2（25－19、25－16、16－25）1　函館大妻

女子・札幌東商 函館大妻に逆転勝ちした。恵庭南男子を2002年の高校総体、国体出場に導いた藤原正監督（56）は「1セット目は3年生がいない下級生チームでモロさが出たが、2セット目からは攻めのプレーをしてくれた」と評価。バスケットボール部のウィンターカップ道予選初優勝も刺激となっており、ブロックで活躍した174センチのセンター・塩内ひかる（2年）は「私たちも続きたい」と闘志を見せた。

ブロックで活躍し函館大妻に逆転勝ちした札幌東商の塩内⑨

【同】▽1回戦

旭川西	2－0	芦別
武修館	2－1	士別翔雲
七飯	2－0	札幌新川
北見柏陽	2－0	北海道栄
旭川大高	2－0	千歳
網走南ケ丘	2－1	えりも
旭川龍谷	2－0	岩見沢東
遠軽	2－0	室蘭栄
双葉	2－1	岩見沢緑陵
滝川西	2－0	稚内大谷
恵庭南	2－1	札幌啓北商
帯広三条	2－0	富良野
札幌国際情報	2－0	江別
東海大札幌	2－0	羽幌
札幌北斗	2－0	函館西

春の高校バレー

第71回
全日本バレーボール
高等学校選手権大会

北海道
代表決定戦

平成30年
11月14日㈬～17日㈯

会場 北海道立総合体育センター（北海きたえーる）
主催 北海道バレーボール協会・北海道高等学校体育連盟・産経新聞・サンケイスポーツ・北海道文化放送
後援 北海道教育委員会・（公財）北海道体育協会・札幌市・（一財）札幌市体育協会・（一財）さっぽろ健康スポーツ財団
主管 札幌バレーボール協会

道大谷室蘭6人で好発進

ぎりぎり6人のメンバーながら、抜群のチームワークで初戦を突破した道大谷室蘭

バレーボール 全日本高校選手権道代表決定戦

第2日（15日、北海きたえーる）

東海大札幌下す

男女2回戦を行い、16強が決まった。女子で昨年、第2代表で春高バレーに出場した道大谷室蘭は、今夏退任した佐々木みき前監督（41）に代わる広瀬幸子新監督（45）のもと、登録6人の部員で東海大札幌に競り勝ち好発進。来春、幕別清陵に校名変更する江陵は、星槎道都大女子の入沢秀寛監督（64）を外部コーチに招き、七飯に快勝。男子は2連覇狙う東海大札幌、恵庭南などが勝ち上がった。

【女子】▽2回戦

道大谷室蘭　2（25－23、25－20）0　東海大札幌

交代要員なし 前回代表意地

交代要員、3年生もいない、6人の道大谷室蘭が、前回代表の意地を見せた。東海大札幌に対し第1セット、6－12から反撃開始。導火線は174センチのセンター加藤紫乃（1年）だ。昨年の中学道選抜メンバーで都道府県中学大会16強入りしたホープが「失敗を恐れず攻めのプレーを心掛けた」と中央から叩き込み7点目。その後もアタック、ブロックを連続ヒットさせ流れを変えた。対角を組む高井沙彩主将（2年）も、切れ味鋭い攻撃を連発。他のメンバーが粘り強く拾って両エースにつなげた。

初めて全道大会を指揮した広瀬監督は、登別大谷高（当時）バレー部OGで佐々木前監督の先輩。「最後まであきらめない全員バレー」を継続指導している。前回の春高バレーは3回戦進出（2回戦から登場）。ベンチ入りした高井主将は「佐々木前監督と先輩たちが築いた、自分を犠牲にしボールをつなぐバレーを実践し勝ち上がりたい」と2年連続の旋風を目指す。（小林　聖孝）

【女子】▽2回戦

札幌大谷	2－0	旭川西
武修館	2－0	遠軽
双葉	2－0	札幌西
江陵	2－0	七飯
苫小牧中央	2－0	根室
札幌東商	2－0	倶知安
帯広大谷	2－0	滝川西
旭川実	2－0	恵庭南
札幌山の手	2－0	北見柏陽
旭川大高	2－0	名寄
帯広三条	2－0	札幌丘珠
深川西	2－0	札幌国際情報
網走南ケ丘	2－1	釧路商
札幌北斗	2－0	天塩
帯広南商	2－0	旭川龍谷

多彩攻め展開

女子・江陵 大型選手はいないが、セッター以外5人全員がバックアタックもこなす多彩な攻めを展開した。昨年まで4年連続4強も、今年6月の高校総体道予選では、まさかの予選リーグ敗退。8月から外部コーチに入沢氏を招き、巻き返しを目指してきた。現校名で最後となる春高バレー予選。セッターの仲谷千咲都主将（3年）は「前衛、後衛フルに使ったコンビバレーで高いブロックを破りたい」と闘志をみせた。

七飯戦で速攻を放つ江陵・清都（右奥、①、左端は仲谷主将）

高さ生かし○

男子・恵庭南 東海大四高（現・東海大札幌）時代に全国制覇を経験した就任2年目の山田卓哉監督（43）のもと、高さあるコンビバレーを展開し、室蘭東翔に快勝。昨年の都道府県対抗中学バレーで8強入りした182センチのエース・記虎新太（きとら・あらた、1年）は鋭いアタックを連発し「明日も気持ちで負けないプレーをしたい」と、とわの森三愛戦へ気合を入れていた。

室蘭東翔戦でアタックを放つ恵庭南の記虎（向こう側）

【男子】▽2回戦

恵庭南	2－0	室蘭東翔
東海大札幌	2－0	帯広三条
室蘭清水丘	2－0	滝川
網走南ケ丘	2－0	函館工
江別	2－0	恵庭北
北海	2－0	富良野
旭川北	2－1	稚内
札幌啓北商	2－0	遠軽
岩見沢緑陵	2－0	釧路工
札幌藻岩	2－0	旭川実
浦河	2－1	江差
白樺学園	2－0	小樽桜陽
札幌工	2－0	倶知安
岩見沢農	2－0	剣淵
道科学大高	2－0	釧路湖陵
とわの森三愛	2－0	北見柏陽

あすからVS川崎

プロバスケットボールB1東地区5位のレバンガ北海道は17、18の両日、帯広市総合体育館で中地区2位の川崎と対戦する。3連敗中のチームは15日、札幌市内で筋トレを挟み、戦術を確認する3部練習を実施。

ジョゼ・ネトHC（47）は「プレシーズン戦でも対戦し、戦い方は分かっている。自分たちの成長した姿を見せ、勝利したい」。帯広出身の多嶋朝飛主将（30）も「出だしからエネルギーを発揮し、先手を取りたい」と連敗阻止へ闘志を見せた。